講義名	教育原理【教職科目】			授業形態	
担当教員	田邉　良祐	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 １時限		
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	TTC121

主題と概要

本講義では、以下の内容について学びを深めることを目的とする。
・「教育」に関する様々な概念や制度
・教育の歴史や思想と現在の「教育」との接続性・関連性

到達目標

上記の目的を達成するために、以下の目標を設定する。
目標1　学校教育を中心に、現在の国内外の「教育」を動かす仕組み・制度・概念等について説明することができる。
目標2　様々な教育思想家やその思想が現在の「教育」とどのように関わっているのか説明することができる。
目標3　現在の国内外の「教育」が形成される歴史の概要を、主要な出来事を踏まえながら説明することができる。
目標4　本講義で取り扱う学びが、教員としていつ、どのような場面で活かすことができそうか、または関連するのか、自分の言葉で説明することができる。

提出課題

毎授業作成し往還するポートフォリオ
第5回～第14回にかけて学生が実施する反転授業の資料一式

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎授業作成するポートフォリオを往還することで都度評価を開示し、疑問があればそのやりとりを通して解答する。
また、第15回目に実施する授業のまとめと到達度確認では、授業内で解説を行い、授業の目標の達成度について内省できるようにする。

評価の基準

ポートフォリオ　60%（4点×15回）
反転授業の内容及び作成したスライド・教具教材　20%
到達度を確認するテスト　20%

履修にあたっての注意・助言他

教員免許状取得必修科目

教科書

.使用しない.				

参考図書

その他

授業に必要な授業資料は適宜配布する。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク	○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				

備考	

授業計画

第1回　授業ガイダンス　本講義に関する説明を行い、発表する回の順番等を決定する
※第1回～第14回目までの【振り返り】の内容については、以下第1回を踏襲する。
【振り返り】　本時の振り返りを行いポートフォリオに記入する。その際①Fact（何をおこなったか）、②Insight（①で書いたことを踏まえ何を学んだか）、③Try（②で書いたことを踏まえ改善していくこと挑戦したいこと）について整理する（2時間）

第2回　講義：教育学と「教育原理」（本講義が取り扱う射程と教職）
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第3回　講義：教科書や教具教材の歴史と進化
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第4回　講義：視聴覚教材の進化と教育DXの現在
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

※第5回～14回のうち各学生が一度必ず教師役となって反転授業を行う。そのため、発表に向けて学生には以下の準備を行ってもらう。
①発表テーマに関して自分自身で問いや仮説を立てる（１時間）
②①に関して文献や情報が確かな記事等を参照しながら問いに答えるまたは仮説を立証する（2時間）
③①と②について整理し発表資料スライドにまとめる（2時間）
④反転授業を展開するために必要な教具・教材の作成（1時間）
なお、教師役となった学生は以下について通常行う振り返りとは別に省察レポートを提出する。
①Fact（何をおこなったか）、②Insight（①で書いたことを踏まえ何を学んだか）、③Try（②で書いたことを踏まえ改善していくこと挑戦したいことについて記述する（2時間）

第5回　発表・講義：「『教育』は何のためにあるのか？」（「人間」になるために大切なことを「教える」「学ぶ」営み）
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第6回　発表・講義：「なぜ公教育は必要なのか？」（公教育が必要な理由）
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第7回　発表・講義：「学校とはどのような場所なのか？」（学校の過去・現在・未来）
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第8回　発表・講義：「子どもとはどのような存在か？」（子ども観の歴史）
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第9回　発表・講義：「いい先生とはどんな『先生』か？」（教師に求められる力量と可能性）
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第10回　発表・講義：「子どもに価値を押し付けて良いのだろうか？」（教育の価値をめぐる視点）
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第11回　発表・講義：「教育実践にマニュアルはどこまで有効か？」（教育における計画や指導案の意味の再検討）
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第12回　発表・講義：「なぜ勉強しなくちゃいけないの？」（子どもの疑問に向き合う）
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第13回　発表・講義：「『遊んでばかり』は悪いことなのか？」（「遊び」と「教育」）
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第14回　発表・講義：「『いのちの大切さ』等をどのように教えるか？」（言葉では伝わりにくいことをどのように教えるか？）
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

第15回　授業のまとめと到達度の確認
【予習】　提示された本授業回の問いに答える（2時間）
【振り返り】　本時の振り返り（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる(課題発見力)」と関連する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

2026年度入学生からBYOD（私的デバイスの利用）が必須となりました。１年次向けの科目であるため、毎回各自のラップトップやタブレット等を持参すること。調べ物やポートフォリオの作成、共同発表に向けたオンデマンド上の作業に利用する。

実務経験の有無及び活用